

日本語能力試験 Can-do 自己評価調査レポート《中間報告》(2011年6月発表)

1. 日本語能力試験 Can-do 自己評価調査プロジェクトについて

新しい日本語能力試験では、さまざまな学習環境で日本語を学ぶ受験者に対して、日本語を使ってどのようなことができるかと考えているかについてアンケート調査を行っています。

(1)調査の目的

このアンケート調査をもとに、各レベルの合格者が、日本語を使って、どのようなこと(聞く・話す・読む・書く)ができるかと考えているかを例示した『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』を提供します。このレポートは、受験者や周りの人々が、「このレベルの合格者は日本語を使ってどんなことができるか」のイメージを作るための参考情報になります。

(2)調査内容

このアンケート調査は、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4つのセクションに分かれています。回答者は、「駅やデパートでのアナウンスを聞いて、だいたい理解できる」(「聞く」の一例)のような日本語を使う行動が記述された文を一つ一つ読んで、1) その行動を実際に日本語で経験したことがあるかどうかを「はい」、「いいえ」で答えます。それから、2) その行動が日本語でできるかどうかを4:「できる」、3:「難しいがなんとかできる」、2:「あまりできない」、1:「できない」の4段階で自己評価します。経験がない場合にも、できそうかどうか想像して答えてもらいます。なお、本調査実施にあたり、質問用紙の各セクション記述文等は、日本語原文から英語、韓国語、中国語、ベトナム語に翻訳されました。

「できる」、「できない」の程度の判断は、人によって、また経験したことがあるかどうかによって違います。この調査は自己評価に基づくものですから、調査の結果は個々の合格者がそれぞれの記述文に示された行動を「実際に」どのくらいできるかを正確に表したものではありません。しかし、各レベルの合格者が自分の日本語能力についてどう思っているかを知ることができますので、「このレベルの合格者は日本語を使ってどんなことができるか」というイメージ作りの参考情報として使うことができます。

(3)今回の中間報告の概要について

2010年は、第1回試験(2010年7月実施)、第2回試験(2010年12月実施)の受験者を対象に調査を実施しました。2010年9月から2010年12月までの4ヶ月間に、日本国内及び海外5ヶ国で計27,165人の受験者にアンケートに協力いただきました(→「2010年調査の概要」)。

今回、2010年調査における合格者の自己評価に基づく分析結果を、『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』《中間報告》にまとめました。

(4)今後の調査計画

この日本語能力試験 Can-do 自己評価調査プロジェクトは2011年も継続して実施し、データ数や調

査対象国・地域を増やしていきます。これらのデータをもとにN1～N5を1つにまとめた最終報告は2012年に行う予定です。

最終報告は、データ数や調査対象国・地域が増えることによって、今回発表する結果から、変動する可能性が見込まれます。

2. 『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』《中間報告》

2010年9月から12月に実施したアンケート調査の結果から、合格者による自己評価を『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』《中間報告》にまとめました。

別紙 1	『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N1-N3)《中間報告》	聞く
別紙 2	『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N4-N5)《中間報告》	聞く
別紙 3	『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N1-N3)《中間報告》	読む
別紙 4	『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N4-N5)《中間報告》	読む
別紙 5	『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N1-N3)《中間報告》	話す
別紙 6	『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N4-N5)《中間報告》	話す
別紙 7	『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N1-N3)《中間報告》	書く
別紙 8	『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N4-N5)《中間報告》	書く
参考	「2010年調査の概要」	

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』《中間報告》の見かた

表の数字は、今回の調査の対象となった各レベル合格者による自己評価（4：できる、3：難しいがなんとかできる、2：あまりできない、1：できない）の平均値です。Can-doの項目は、N1～N3の表についてはN1合格者の、N4～N5の表についてはN4合格者の判断を基準に、難しいと感じている順に並べ替えました。

「できる」、「できない」の程度の判断は、人によって、また経験したことがあるかどうかによって違います。この調査は自己評価に基づくものですから、調査の結果は個々の合格者がそれぞれの記述文に示された行動を「実際に」どのくらいできるかを正確に表したものではありません。しかし、各レベルの合格者が自分の日本語能力についてどう思っているかを知ることができますので、受験者や周りの人々が、「このレベルの合格者は日本語を使ってどんなことができそうか」というイメージ作りの参考情報として使うことができます。

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N1-N3)《中間報告》 聞く

4：できる、3：難しいがなんとかできる、2：あまりできない、1：できない の4段階で自己評価してもらいました。表の数値は、各レベルの合格者による自己評価の平均値です。項目は、N1合格者の評価を基準に、難しいと思われるものから並べ替えました。

	N1	N2	N3
政治や経済などについてのテレビのニュースを見て、要点が理解できる。	2.92	2.33	2.04
仕事や専門に関する問い合わせを聞いて、内容が理解できる。	2.99	2.47	2.25
社会問題を扱ったテレビのドキュメンタリー番組を見て、話の要点が理解できる。	3.09	2.50	2.23
あまりなじみのない話題の会話でも話の要点が理解できる。	3.17	2.71	2.49
フォーマルな場（例：歓迎会）でのスピーチを聞いて、だいたいの内容が理解できる。	3.17	2.65	2.40
最近メディアで話題になっていることについての会話で、だいたいの内容が理解できる。	3.22	2.72	2.41
関心あるテーマの議論や討論で、だいたいの内容が理解できる。	3.35	2.92	2.65
学校や職場の会議で、話の流れが理解できる。	3.35	2.94	2.70
関心あるテーマの講義や講演を聞いて、だいたいの内容が理解できる。	3.37	2.95	2.73
思いがけない出来事（例：事故など）についてのアナウンスを聞いてほしい理解できる。	3.39	2.97	2.74
身近にある機器（例：コピー機）の使い方の説明を聞いて、理解できる。	3.41	3.01	2.73
身近で日常的な話題についてのニュース（例：天気予報、祭り、事故）を聞いて、ほしい理解できる。	3.53	3.13	2.81
身近で日常的な内容のテレビ番組（例：料理、旅行）を見て、ほしい内容が理解できる。	3.63	3.30	2.95
店での商品の説明を聞いて、知りたいこと（例：特徴など）がわかる。	3.65	3.32	2.96
駅やデパートでのアナウンスを聞いて、ほしい理解できる。	3.65	3.34	3.02
身近で日常的な話題（例：旅行の計画、パーティーの準備）についての話し合いで、話の流れが理解できる。	3.68	3.29	3.02
アニメや若者向け映画のような単純なストーリーのテレビドラマや映画を見て、ほしい内容が理解できる。	3.72	3.36	3.14
標準的な話し方のテレビドラマや映画を見て、ほしい理解できる。	3.73	3.38	3.14
周りの人との雑談や自由な会話で、ほしい内容が理解できる。	3.77	3.53	3.21

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N4-N5)《中間報告》 聞く

4：できる、3：難しいがなんとかできる、2：あまりできない、1：できない の4段階で自己評価してもらいました。表の数値は、各レベルの合格者による自己評価の平均値です。項目は、N1合格者の評価を基準に、難しいと思われているものから並べ替えました。

	N4	N5
簡単な道順や乗り換えについての説明を聞いて、理解できる。	3.06	2.86
身近で日常的な話題(例:趣味、食べ物、週末の予定)についての会話がだいたい理解できる。	3.16	2.92
簡単な指示を聞いて、何をすべきか理解できる。	3.30	3.15
先生からのお知らせを聞いて、集合時間、場所などがわかる。	3.40	3.24

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N1-N3)《中間報告》 話す

4：できる、3：難しいがなんとかできる、2：あまりできない、1：できない の4段階で自己評価してもらいました。表の数値は、各レベルの合格者による自己評価の平均値です。項目は、N1合格者の評価を基準に、難しいと思われるものから並べ替えました。

	N1	N2	N3
関心ある話題の議論や討論に参加して、意見を論理的に述べることができる。	3.15	2.65	2.34
思いがけない出来事（例：事故など）の経緯と原因について説明することができる。	3.27	2.73	2.40
相手や状況に応じて、丁寧な言い方とくだけた言い方が使い分けられる。	3.28	2.88	2.75
最近メディアで話題になっていることについて質問したり、意見を言ったりすることができる。	3.28	2.74	2.41
準備をしていれば、自分の専門の話題やよく知っている話題についてプレゼンテーションができる。	3.36	2.99	2.72
使い慣れた機器（例：自分のカメラなど）の使い方を説明することができる。	3.37	2.93	2.65
クラスのディスカッションで、相手の意見に賛成か反対かを理由とともに述べるができる。	3.45	3.01	2.71
アルバイトや仕事の面接で、希望や経験を言うことができる。（例：勤務時間、経験した仕事）。	3.46	2.98	2.58
旅行中のトラブル（例：飛行機のキャンセル、ホテルの部屋の変更）にだいたい対応できる。	3.54	3.09	2.82
最近見た映画や読んだ本のだいたいのストーリーを紹介することができる。	3.55	3.12	2.76
旅行会社や駅で、ホテルや電車の予約をすることができる。	3.57	3.17	2.85
準備をしていれば、自分の送別会などフォーマルな場で短いスピーチをすることができる。	3.61	3.34	3.21
よく知っている場所の道順や乗り換えについて説明することができる。	3.63	3.30	3.00
友人や同僚と、旅行の計画やパーティーの準備などについて話し合うことができる。	3.64	3.27	2.95
体験したこと（例：旅行、ホームステイ）とその感想について話すことができる。	3.68	3.32	3.03
店で買いたいものについて質問したり、希望や条件を説明したりすることができる。	3.71	3.41	3.23
電話で遅刻や欠席の連絡ができる。	3.72	3.42	3.21
相手の都合を聞いて、会う日時を決めることができる。	3.82	3.58	3.40
身近で日常的な話題（例：趣味、週末の予定）について会話ができる。	3.82	3.58	3.35

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N4-N5)《中間報告》 話す

4：できる、3：難しいがなんとかできる、2：あまりできない、1：できない の4段階で自己評価してもらいました。表の数値は、各レベルの合格者による自己評価の平均値です。項目は、N1合格者の評価を基準に、難しいと思われるものから並べ替えました。

	N4	N5
自分の家族や町など身近な話題について説明することができる。	2.91	2.79
観光地などで会った人に声をかけて、簡単な会話ができる。	2.93	2.71
自分の部屋について説明することができる。	3.16	3.03
驚き、嬉しさなどの自分の気持ちと、その理由を簡単なことばで説明することができる。	3.19	2.91
日常的なあいさつと、その後の短いやりとりができる。(例:「いい天気ですね」など)	3.48	3.30
趣味や興味のあることについて、話すことができる。	3.48	3.34
店、郵便局、駅などで、よく使われることば(例:「いくらですか」「〇〇をください」)を使って、簡単なやりとりができる。	3.48	3.31
自己紹介をしたり、自分についての簡単な質問に答えたりすることができる。	3.55	3.49

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N1-N3)《中間報告》 読む

4 : できる、3 : 難しいがなんとかできる、2 : あまりできない、1 : できない の4段階で自己評価してもらいました。表の数値は、各レベルの合格者による自己評価の平均値です。項目は、N1合格者の評価を基準に、難しいと思われるものから並べ替えました。

	N1	N2	N3
論説記事(例:新聞の社説など)を読んで、主張・意見や論理展開が理解できる。	3.15	2.56	2.14
政治、経済などについての新聞や雑誌の記事を読んで、要点が理解できる。	3.17	2.57	2.18
仕事相手からの問い合わせや依頼の文書を読んで、理解できる。	3.18	2.58	2.22
敬語が使われている正式な手紙やメールの内容が理解できる。	3.25	2.85	2.61
人物の心理や話の展開を理解しながら、小説を読むことができる。	3.37	2.80	2.36
自分の仕事や関心のある分野の報告書・レポートを読んで、だいたいの内容が理解できる。	3.40	2.90	2.55
一般日本人向けの国語辞典を使ってことばの意味が調べられる。	3.42	2.91	2.60
関心のある話題についての専門的な文章を読んで、だいたいの内容が理解できる。	3.42	2.94	2.56
エッセイを読んで、筆者の言いたいことがわかる。	3.44	2.91	2.51
電子機器(例:携帯電話など)の新しい機能であっても、取扱説明書を読んで、使い方がわかる。	3.51	3.05	2.71
家庭用電化製品(例:洗濯機など)の取扱説明書を読んで、基本的な使い方がわかる。	3.56	3.16	2.81
身近で日常的な話題についての新聞や雑誌の記事を読んで、内容が理解できる。	3.58	3.11	2.74
旅行のガイドブックや、進学・就職の情報誌を読んで、必要な情報がとれる。	3.63	3.21	2.82
生活や娯楽(例:ファッション、音楽、料理)についての情報誌を読んで、必要な情報がとれる。	3.65	3.27	2.96
商品のパンフレットを見て、知りたいこと(例:商品の特徴など)がわかる。	3.70	3.32	3.02
図鑑などの絵や写真のついた短い説明を読んで、必要な情報がとれる。	3.70	3.37	3.12
短い物語を読んで、だいたいのストーリーが理解できる。	3.73	3.39	3.13
学校、職場などの掲示板を見て、必要な情報(例:講義や会議のスケジュールなど)がとれる。	3.75	3.43	3.11

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N4-N5)《中間報告》 読む

4：できる、3：難しいがなんとかできる、2：あまりできない、1：できない の4段階で自己評価してもらいました。表の数値は、各レベルの合格者による自己評価の平均値です。項目は、N1合格者の評価を基準に、難しいと思われるものから並べ替えました。

	N4	N5
知人や友人から来たはがきやメールを読んで、理解できる。	3.11	2.83
絵がたくさん入っている本や漫画を読んで、だいたいのストーリーが理解できる。	3.16	2.94
新聞の広告やチラシを見て、安売り期間や値段などがわかる。	3.21	3.07
年賀状や誕生日のカードを読んで、理解できる。	3.29	3.19
学校などで面談の予定表を見て、自分の面談の曜日と時間がわかる。	3.36	3.22
簡単なメモを読んで、理解できる。	3.41	3.21

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N1-N3)《中間報告》 書く

4：できる、3：難しいがなんとかできる、2：あまりできない、1：できない の4段階で自己評価してもらいました。表の数値は、各レベルの合格者による自己評価の平均値です。項目は、N1合格者の評価を基準に、難しいと思われるものから並べ替えました。

	N1	N2	N3
論理的に意見を主張する文章を書くことができる。	2.98	2.44	2.13
目上の知人(例:先生など)あてに、基本的な敬語を使って手紙やメールを書くことができる。	3.10	2.71	2.51
料理の作り方や機械の使い方などの方法を書いて伝えることができる。	3.14	2.65	2.35
自分の仕事内容または専門的関心(例:研究テーマなど)について簡単に説明することができる。	3.19	2.72	2.39
自分の送別会などでの挨拶スピーチの原稿を書くことができる。	3.20	2.77	2.54
自分の関心のある分野のレポートを書くことができる。	3.22	2.73	2.40
思いがけない出来事(例:事故など)について説明する文章を書くことができる。	3.22	2.71	2.39
自国の文化や習慣(例:祭りなど)を紹介するスピーチの原稿を書くことができる。	3.26	2.85	2.44
複数の情報や意見を自分のことばでまとめて、文章を書くことができる。	3.26	2.78	2.46
学校や会社への志望理由などを書くことができる。	3.35	2.88	2.54
理由を述べながら、自分の意見を書くことができる。	3.37	2.91	2.60
最近読んだ本や見た映画のだいたいのストーリーを書くことができる。	3.40	2.96	2.61
自分が見た場面や様子を説明する文を書くことができる。	3.42	2.98	2.66
学校、ホテル、店などに問い合わせの手紙やメールを書くことができる。	3.45	3.02	2.71
知人に、感謝や謝罪を伝える手紙やメールを書くことができる。	3.54	3.24	2.97
自分の日常生活を説明する文章を書くことができる。	3.59	3.30	3.07
体験したことや、その感想について、簡単に書くことができる。	3.61	3.27	2.99
インターネット上で予約や注文をすることができる。	3.62	3.24	2.97
友人や同僚に日常の用件を伝える簡単なメモを書くことができる。	3.74	3.51	3.29

『日本語能力試験 Can-do 自己評価レポート』(N4-N5)《中間報告》 書く

4：できる、3：難しいがなんとかできる、2：あまりできない、1：できない の4段階で自己評価してもらいました。表の数値は、各レベルの合格者による自己評価の平均値です。項目は、N1合格者の評価を基準に、難しいと思われるものから並べ替えました。

	N4	N5
将来の計画や希望(例:夏休みの旅行、やりたい仕事)について簡単に書くことができる。	2.88	2.52
自分の家族や町などの身近な話題について簡単に書くことができる。	2.90	2.77
短い日記を書くことができる。	2.95	2.73
友人に、依頼や誘いの簡単な手紙やメールを書くことができる。	3.12	2.86
予定表やカレンダーに、短いことばで自分の予定を書くことができる。	3.13	2.88
誕生日のカードや短いお礼のカードを書くことができる。	3.23	3.08
簡単な自己紹介の文を書くことができる。	3.26	3.14

2010年調査の概要

1. 調査実施地：

日本、韓国、中国、ベトナム、マレーシア、インド

2. 調査実施時期：2010年9月～12月

3. 調査対象者：

(1) 調査対象者数：2010年第1回及び第2回試験受験者のうち計 27,165人

(2) 調査対象者中の合格者数：計 16,675人

(3) 調査対象者中の合格者数（調査実施地別の内訳）：

(単位：人)

調査実施地	国内	海外					合計
	日本	韓国	中国	ベトナム	マレーシア	インド	
調査対象者中の	1,476	11,200	2,958	416	329	296	16,675
合格者数	(8.9%)	(67.2%)	(17.7%)	(2.5%)	(2.0%)	(1.8%)	(100%)

以上